

レタス栽培による土地利用の高度化ととうもろこしの直売で収益向上  
～ピアフィールド株式会社（静岡県吉田町）～

経営体の概要

|                                       |                                                      |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 就農当初：平成13年度                           | 現 在：令和4年度                                            |
| 基幹作物：水稻2.5ha、レタス2.5ha、<br>とうもろこし0.6ha | 基幹作物：水稻5.0ha、レタス6.0ha（春冬）、<br>とうもろこし0.6ha、施設トマト0.1ha |
| 経営面積：3.1ha、                           | 経営面積：5.0ha                                           |

取組の経緯と経営転換のポイント等

本法人の代表が就農した平成13年は国営事業による更新事業実施当初にあたる。地域の農業は大井川用水があることを前提として営農されており、代表も就農当時から大井川用水を活用した農業を行っていた。当初、3.1haの水田で水稻、レタス、とうもろこしの栽培を行っていたが、経営規模を徐々に拡大する中で労働力を安定的に確保していくために平成28年に法人化した。

現在は5.0haの水田で水稻、レタス、とうもろこしに加え、年間を通じて安定した経営ができるよう施設トマト栽培に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①経営規模の拡大

就農した平成13年当時、3.1haの経営面積のうち所有面積0.6ha、賃借面積2.5haであったが、法人化した現在は経営面積5ha（所有面積0.6ha、賃借面積4.4ha）に拡大した。就農当初から水稻栽培、裏作としてレタスの2期作、夏場のとうもろこし栽培を行っていたが、年間を通じた雇用と周年栽培による経営の安定化を図るため、10aのハウスで施設トマト栽培を導入した。



水稻栽培ほ場

③単収・品質の向上

水稻は栽培時期を考慮しながら多収穫品種を積極的に導入し、単収は480～500kg/10aを確保している。水稻の裏作として栽培しているレタスは1月～2月の乾燥する時期に大井川用水をうね間かんがいすることで、収量、品質の向上を図っている。

また、昭和50年代に区画整理したほ場は暗渠未施工のほ場が多く、排水不良であったことから、近年、農地中間管理機構営事業を活用し暗渠を整備したことで乾田化が図れ、収量、品質が安定した。



とうもろこしの直売

③流通・販売の工夫

主食用米のうち3割を系統出荷するほか、3割を個人向けに販売し、4割を県内米穀業者へ販売することで、複数の販路とし高い収益を確保している。とうもろこしは朝どれとうもろこしとして、収穫直後のとうもろこしをほ場横の直売所で直接販売している。



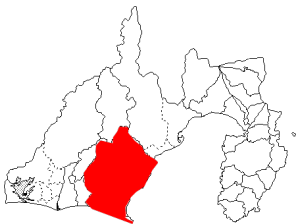
レタス栽培ほ場

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：静岡県 島田市、焼津市、掛川市、  
藤枝市、袋井市、御前崎市、  
菊川市、牧之原市、吉田町

受益面積：7,450ha  
事業期間：平成11年度～平成29年度  
事業目的：用水改良  
主要工事：取水工 1箇所、頭首工 2箇所、  
用水路 L=29.8km、末端用水路 L=74.2km

位置図（静岡県）



大井川用水地区

<問い合わせ先>  
関東農政局  
農村振興部農地整備課  
電話：048-600-0600

（令和4年度調査時点）